

# あたまを打ったひとへ

## 頭部外傷後の注意

県立五條病院脳神経外科

奈良県五條市野原西五丁目2番59号

☎ 0747(22)1112

頭を打った時には、脳に色々な変化が起こります。特に頭蓋骨（頭の骨）の内側に出血が起こると生命に危険を及ぼす事が多いので注意が必要です。

このような頭蓋内出血（頭の中の出血）の症状は、頭を打ったのちすぐ起こることも、1～2日ときに数日経ってから起こることも、またずっと遅れて数カ月も経ってから起こることもあります。

ですから現在何も症状がなくても、十分注意しなければなりません。頭を打ったのち、元気だった人が急に死亡したりすることがあるのは、このような頭蓋内出血のためです。

この頭蓋内出血は、頭蓋骨骨折（頭の骨折）とはかならずしも関係しませんから、頭の骨に異常がないとって安心はできません。

そこで次に書いた注意をよく読んで下さい。そして、手遅れにならぬまに、患者さんを病院へつれてくるのが非常に重要です。

次の7つのどれかがあるか、または疑わしいと思われる時には、すぐに連絡しご来院ください。

- 1) 頭痛（頭いた）がだんだん強くなる時
- 2) 吐き気や嘔吐（食べたものを吐いたり、何も食べていないのにものを吐く）が何回も起こる時
- 3) ぼんやりしてくる時、あるいはほっておくとすぐ眠ってしまい起こしてもなかなか起きない時
- 4) 視力（物を見る力）弱くなったり、物が二重に見えたりする時
- 5) 手足が動きにくくなったり、しびれたりする時
- 6) けいれん（ひきつけ）が起こる時
- 7) 熱がどんどん高くなる時

なお、小さい子供さんは、相当強く打った時でも、症状が出にくいことが多いのでたとえ元気にしていても2～3日は目をはなさないことが大切です。

頭を打ったのち少なくとも1～2日は安静を保ち、ひとりで外出したりしないよう注意してください。

また、病院へ患者さんを運ぶ時には、できるだけ振動の少ない乗物で、短時間に運んでください。